

多職種ネットワーク（MCS）の利用の実績について

1. 目的

区内に居住する在宅療養者等に関わる全ての医療と介護の関係者が、ICTシステムの活用により情報を共有しながら連携して在宅療養者等を支える体制を構築する。

文京区医師会においてICTネットワークの管理・運営を行い、対象関係者の連携を支援している。

2. ICTシステムの運用

設置場所：文京区医師会館内

窓口従事者：文京区医師会事務局職員

業務内容：MCS登録管理、登録、利用に関する対応管理

MCS地域統計情報：別紙1

※MCSのグループでの活用が増加している。

3. 運営委員会

両医師会及び区関係部署委員で構成する運営委員会を設置し、その下に文京区医師会の委員で構成する小委員会を設置した。

(1) 多職種ネットワーク運営委員会及び多職種ネットワーク小委員会

運営委員会では、システム利用に関する情報共有、運用事業全体の調整と今後の事業計画の策定を行った。

今年度は昨年が続いてコロナ感染が拡大した状況であったが、令和3年12月8日に文京区医師会館にて対面で運営会議を行い、研修会の開催、都立大塚病院とのMCSを介しての連携について提案した。

4. 対象関係者への普及及び啓発

(1) 研修、講演会の開催

① 令和2年度

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を見合わせた。

② 令和3年度

令和4年2月26日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて中止とし、次年度に開催することとした。

(2) 周知・啓発

文京区医師会ホームページに多職種ネットワークのページを設置して情報提供

5. その他

とうきょう認知症サポート医ネットワークへの参加
コロナ患者への多職種訪問診療等へのMCSの利用